

TAC 法律資格合同特別セミナー 《行政書士講座》

行政書士への道！

「短期合格への 学習戦略」

《セミナーの内容》

1. 行政書士になるには？（行政書士試験概要）

試験科目 ⇒ 法律の基礎の基礎

2. 合格のための得点戦略とタイムマネジメント

- ・得点戦略
- ・効率的学習方法
- ・戦略的タイムマネジメント

1. 行政書士になるには？

（総合パンフレット P.14～）

(1) 試験要項 （総合パンフレット P.14）

(2) 試験科目・出題数 （総合パンフレット P.14～15）

① 行政書士に必要な法令等（法令科目）

60 問中 46 問 — 5 肢択一式（40 問）、多肢選択式（3 問）及び記述式（3 問）

② 行政書士の業務に関連する一般知識等

60 問中 14 問 — 5 肢択一式（14 問）

(3) 出題形式 （総合パンフレット P.14、解答解説集）

① 5 肢択一式（60 問中 54 問 — 1 問 4 点）

ex. 次のうち正しいものはどれか。

- 1 ～
- 2 ～
- 3 ～
- 4 ～
- 5 ～

② 多肢選択式（60 問中 3 問 — 1 問 8 点・部分点あり）

ex. ア～エに当てはまる語句を、枠内の選択肢（1～20）から選びなさい。

～ ～～～～ ～～～ ～～ ～～～～～。

1	2	～	20
---	---	---	----

③ 記述式（60 問中 3 問 — 1 問 20 点・部分点あり）

ex. ～について、40 字程度で記述しなさい。

(4) 合格基準 ⇒ 300 満点中 180 点（6 割）で合格！！

2. 行政書士試験に合格するための 得点戦略とタイムマネジメント

(1) 得点戦略

① 行政書士に必要な法令等（出題数 46 題－244 点/300 点）

{	基礎法学－	（ 2 問 8 点）	配点小・分量多・難易度易
	憲法	－（ 6 問 28 点）	配点中・分量少・難易度易
	行政法	－（22 問 112 点）	配点大・分量多・難易度中
	民法	－（11 問 76 点）	配点大・分量多・難易度高
	商法	－（ 5 問 20 点）	配点小・分量多・難易度高

② 一般知識等（出題数 14 題－56 点/300 点）

⇒ 40%（24 点）以上の得点必要。

{	政経・社会－	（ 7 問 28 点）	配点小・分量多・難易度高
	情報通信・個人情報保護		
	－	（ 4 問 16 点）	配点小・分量少・難易度中
	文章理解	－（ 3 問 12 点）	配点小・分量多・難易度低



学習の中心に据えるべき科目の選択

- ① 配点が高い科目を得点源にする必要があります。
→ 行政法、民法
- ② 学習分量が少なければ、短時間の学習で得点に直結します。
→ 憲法、情報通信・個人情報保護
- ③ 難易度が易しければ、短時間の学習で得点に直結します。
→ 憲法、文章理解

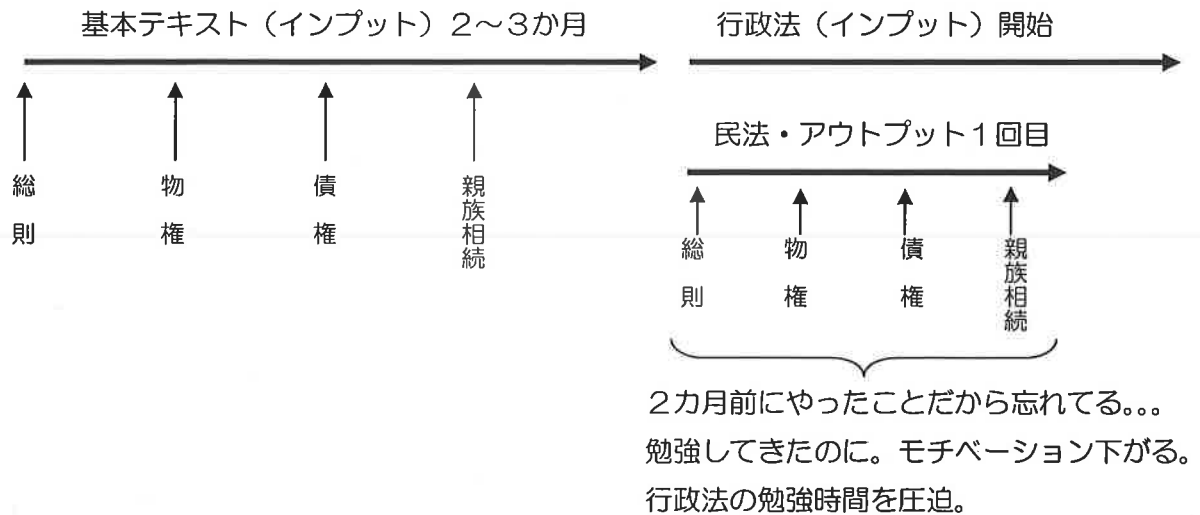
これらの科目を、学習の中心に据えることが短期合格の秘訣です。

(2) 効率的学習方法

⇒ インプット、アウトプットを同時並行で繰り返す。

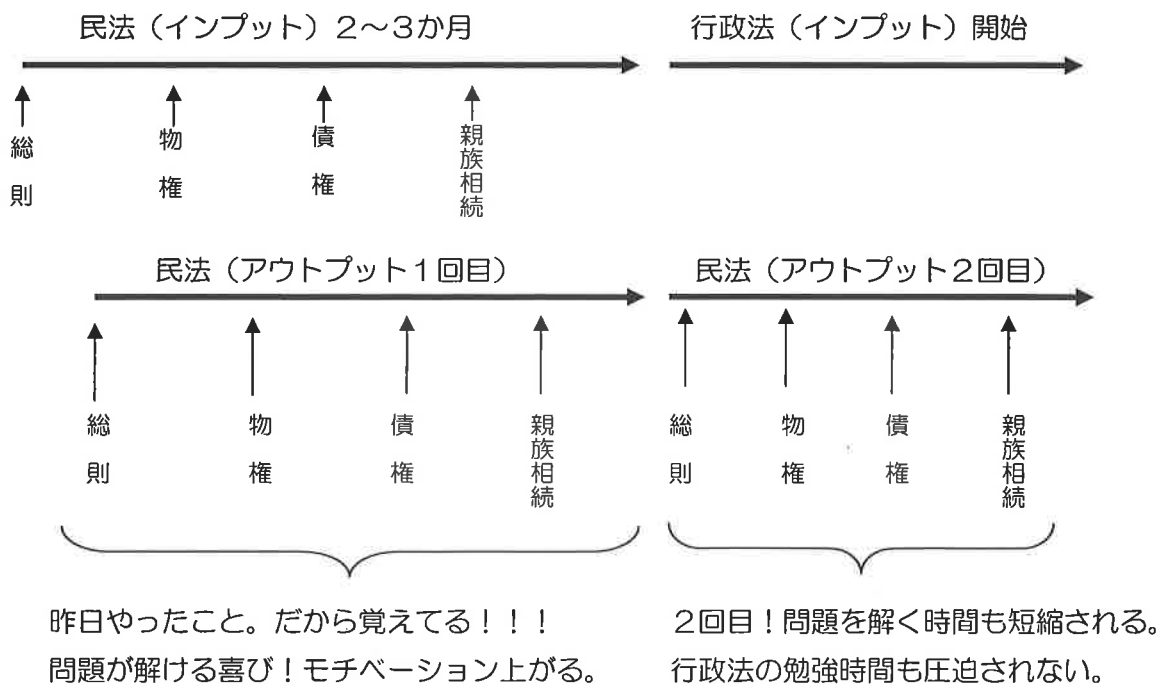
《効率的でないパターン》

インプットを全部やってからアウトプット



《効率的なパターン》

インプット・アウトプットを同時並行で行う。



(3) 戦略的タイムマネジメント

① まずは残り時間を算出してください。

- ・ 1週間で勉強に割くことができる時間は、週_____時間。
- ・ 残り_____週 × 週_____時間 = 本試験までに残された時間

1月5日（日）～	残り44週
2月2日（日）～	残り40週
3月2日（日）～	残り36週
4月6日（日）～	残り31週
5月4日（日）～	残り27週
6月1日（日）～	残り23週
7月6日（日）～	残り18週

② 多く出題される部分に多くの時間を割くのが効率的です。

【法令科目】（81.3% 244／300） 残り時間×約 0.82＝法令の残り時間
（_____時間）× 約 0.82 ＝ 法令の残り時間（_____時間）

- ① 基礎法（ 2.6% 8点）残り時間× 2.6%＝基礎法学の残り時間
- ② 憲法（ 9.3% 28点）残り時間× 9.3%＝ 憲法の残り時間
- ③ 行政法（37.3% 112点）残り時間×37.3%＝ 行政法の残り時間
- ④ 民法（23.3% 76点）残り時間×25.3%＝ 民法の残り時間
- ⑤ 商法（ 6.6% 20点）残り時間× 6.6%＝ 商法の残り時間

【一般知識等】（18.6% 56点） 残り時間×約 0.18＝一般知識の残り時間
（_____時間）× 約 0.18 ＝ 一般知識の残り時間（_____時間）

- ① 政経社（ 9.3% 28点）残り時間× 9.3%＝ 政経社の残り時間
- ② 情報等（ 5.3% 16点）残り時間× 5.3%＝ 情報等の残り時間
- ③ 文章（ 4.0% 12点）残り時間× 4.0%＝文章理解の残り時間

※ここで算出した時間を、巻末 400 時間表に割り振ります。勉強しなくても、一日の勉強予定時間分をマーカーしていきます。

(4) 行書試験に必要な学習部分の取捨選択とTAC利用のメリット

① 学習範囲の選択

効率的に短期合格するためには、行政書士試験合格に必要な知識を取捨選択し、そこを集中的に学習することが必要です。



しかし！

限られた時間の中で、この取捨選択を行うことは容易ではありません。

行政書士試験に必要な基本的知識かどうかを判断するために、細かい法律知識を学習しなければならないとすれば、それは本末転倒です。

また、細かな知識を、すべて押さえようとすることは、合格に必要とされる基本的知識を曖昧にしまいます。

② TAC利用の最大のメリット

短期合格のためには、頻出分野を的確に捉えて、その部分をしっかり理解していく学習をする必要があります。



これを実現するのが TACです！！！！

過去問を徹底分析して、行政書士試験合格に必要とされる基本的知識を取捨選択して教材を作成しています。また、法律を分かりやすく理解させてくれる講義により、基本的知識の取捨選択に時間をかけずに、効率的に合格を引き寄せることができます。

以 上

[illegible]

行書 400 時間表

[illegible]